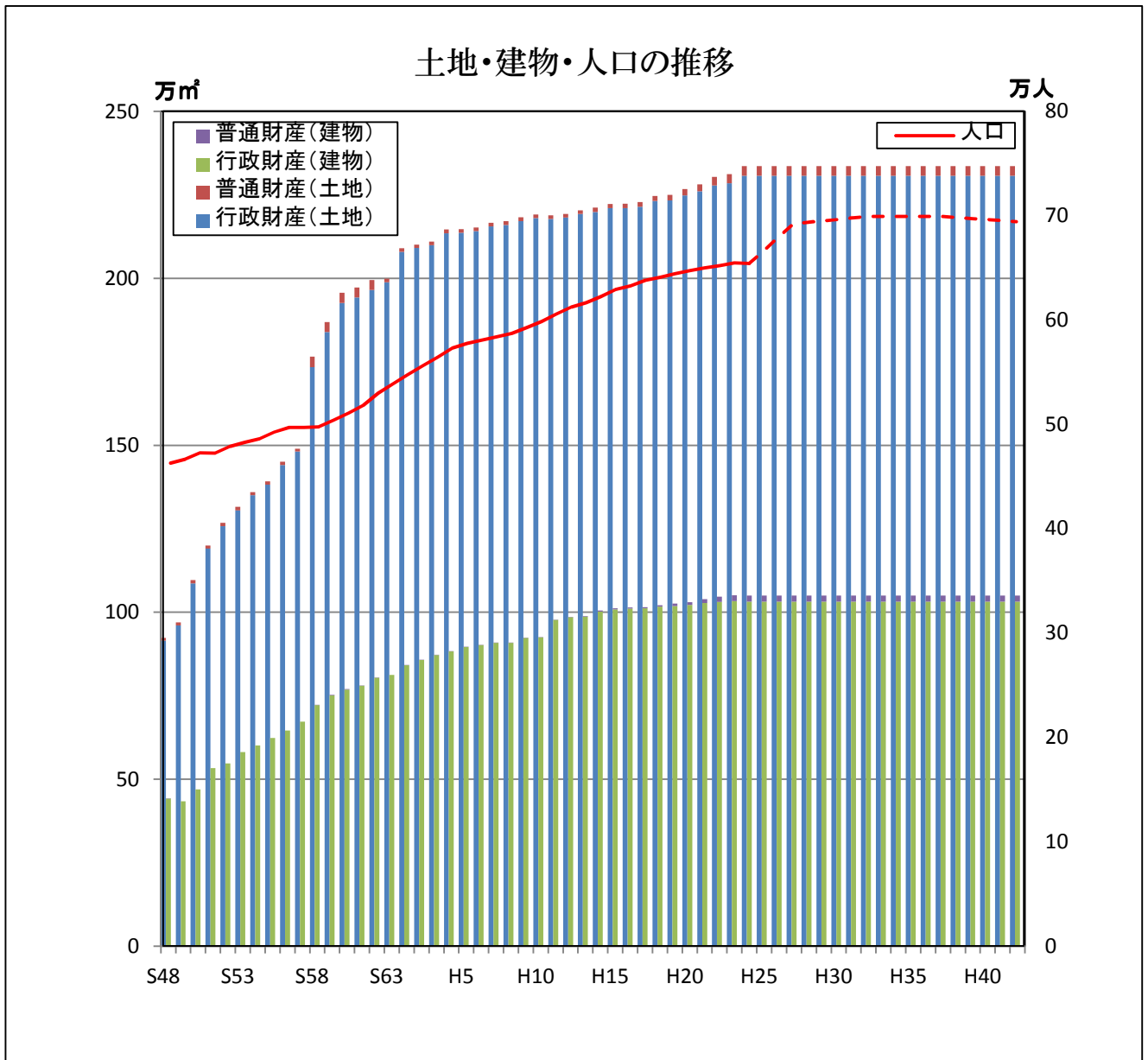


区議会議員がつくる 施設白書

編集 江戸川区議会議員 榎 秀行

平成24年度版



1. 施設整備の推移と現状

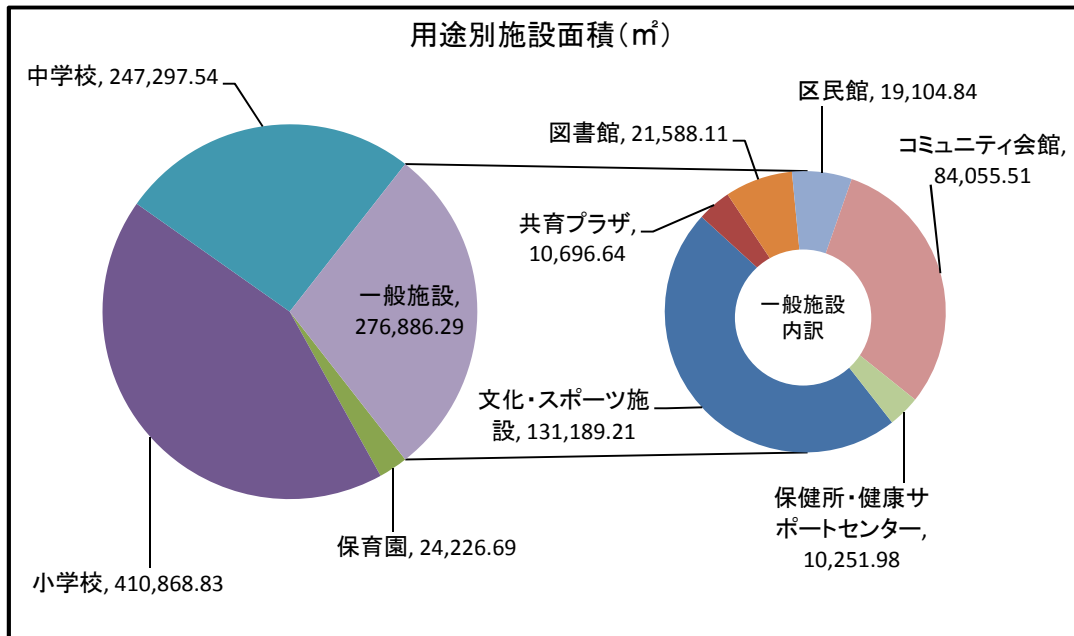
■ 主な施設の状況

施設名	施設数	総延べ床面積 (㎡)	構成割合 (※1)	平均床面積 (㎡)	備考
文化・スポーツ施設	20	131,189.21	12.5%	6559.46	
共育プラザ	6	10,696.64	1.0%	1782.77	保育園併設4施設含む。
保育園	31	24,226.69	2.3%	781.51	
小学校	73	410,868.83	39.1%	5628.34	
中学校	33	247,297.54	23.5%	7493.86	
図書館	10	21,588.11	2.1%	2158.81	
区民館	5	19,104.84	1.8%	3820.97	事務所面積含む。
コミュニティ会館	21	84,055.51	8.0%	4002.64	
保健所・健康サポートセンター	8	10,251.98	1.0%	1281.50	

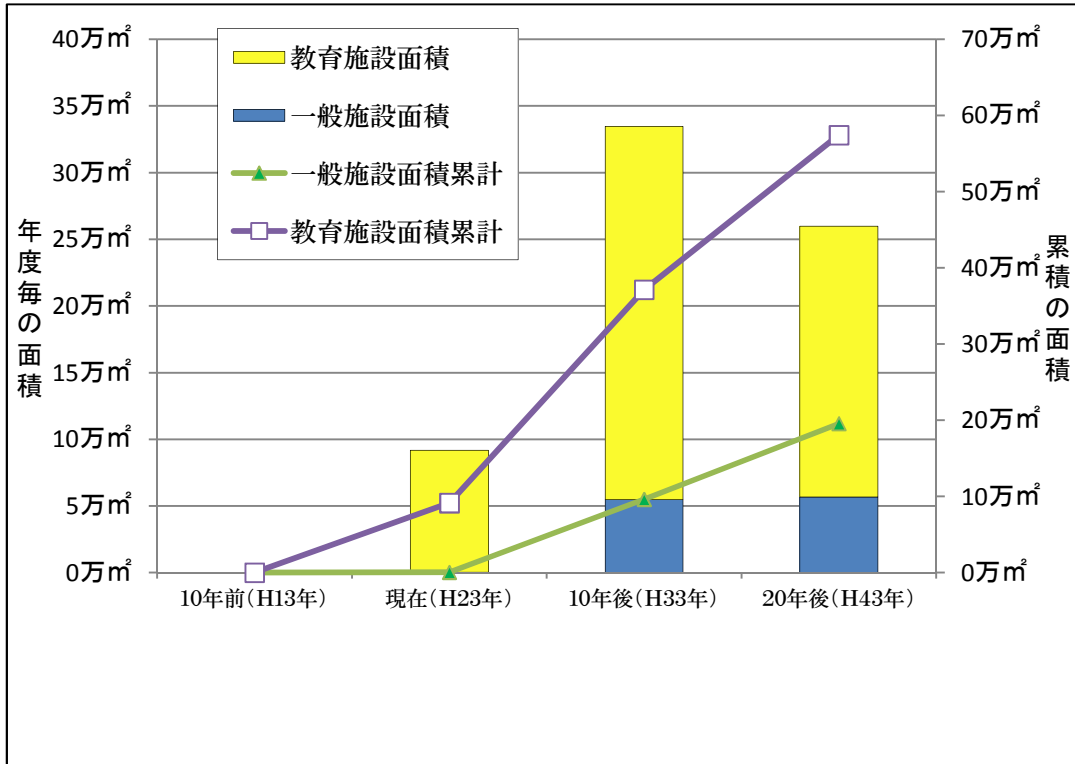
※1 区所有建物全体の合計数が分母。

■ 用途別施設面積

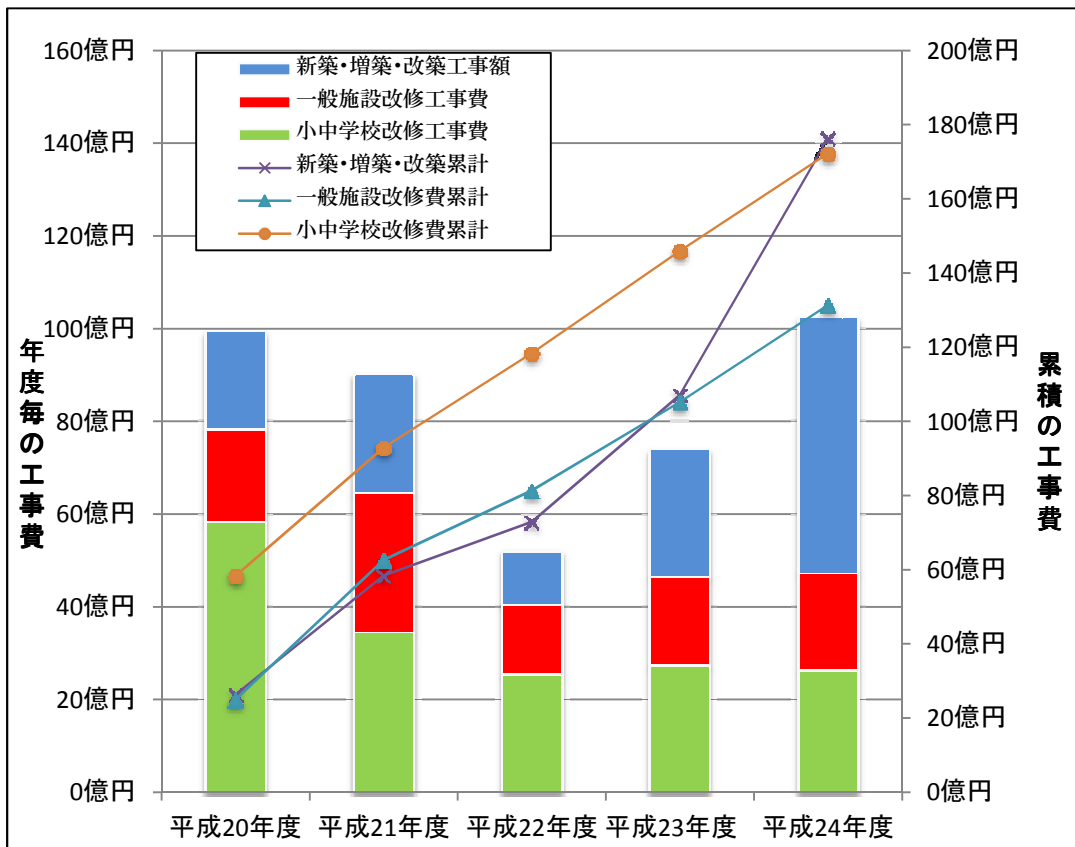
● 区の施設のうち、約7割が学校施設、残り3割が一般施設です。



■ 建築後50年を迎える建物面積状況

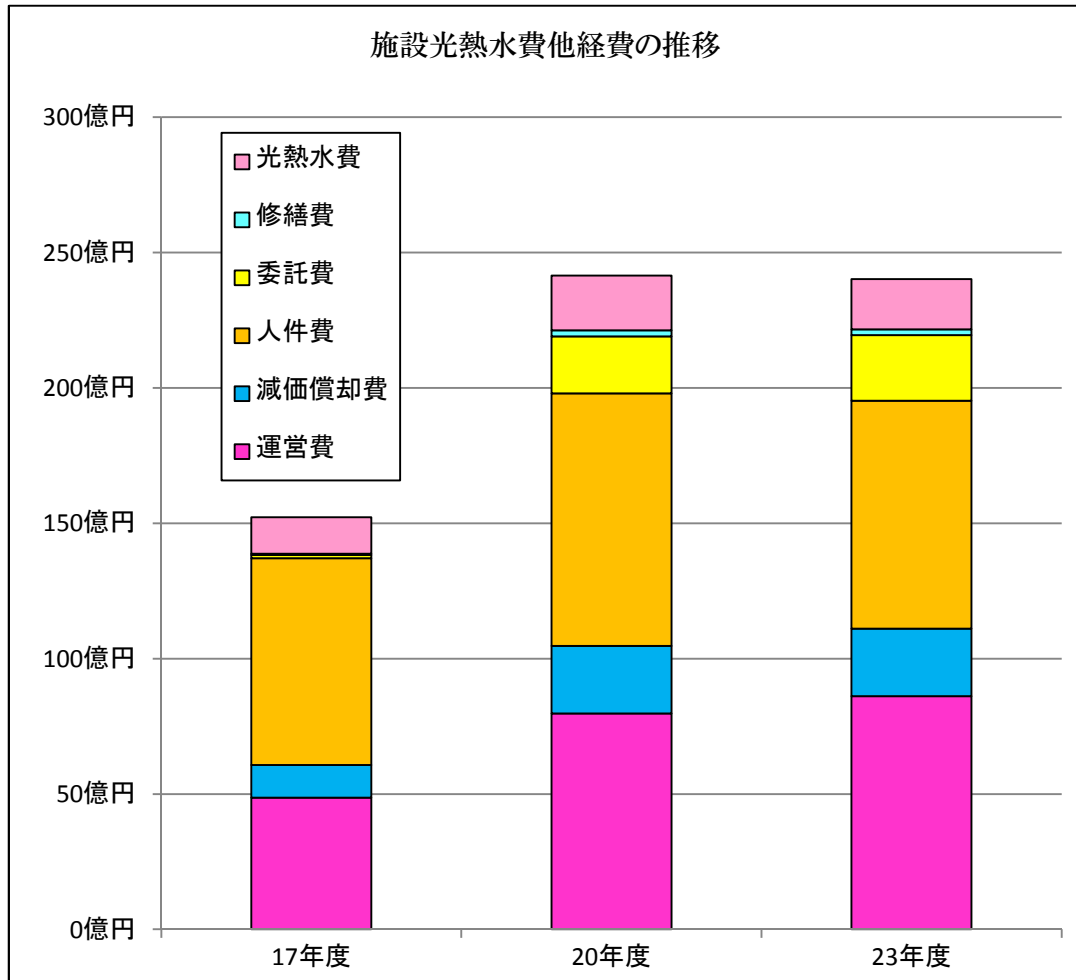


■ 施設の改築・回収工事費の推移状況



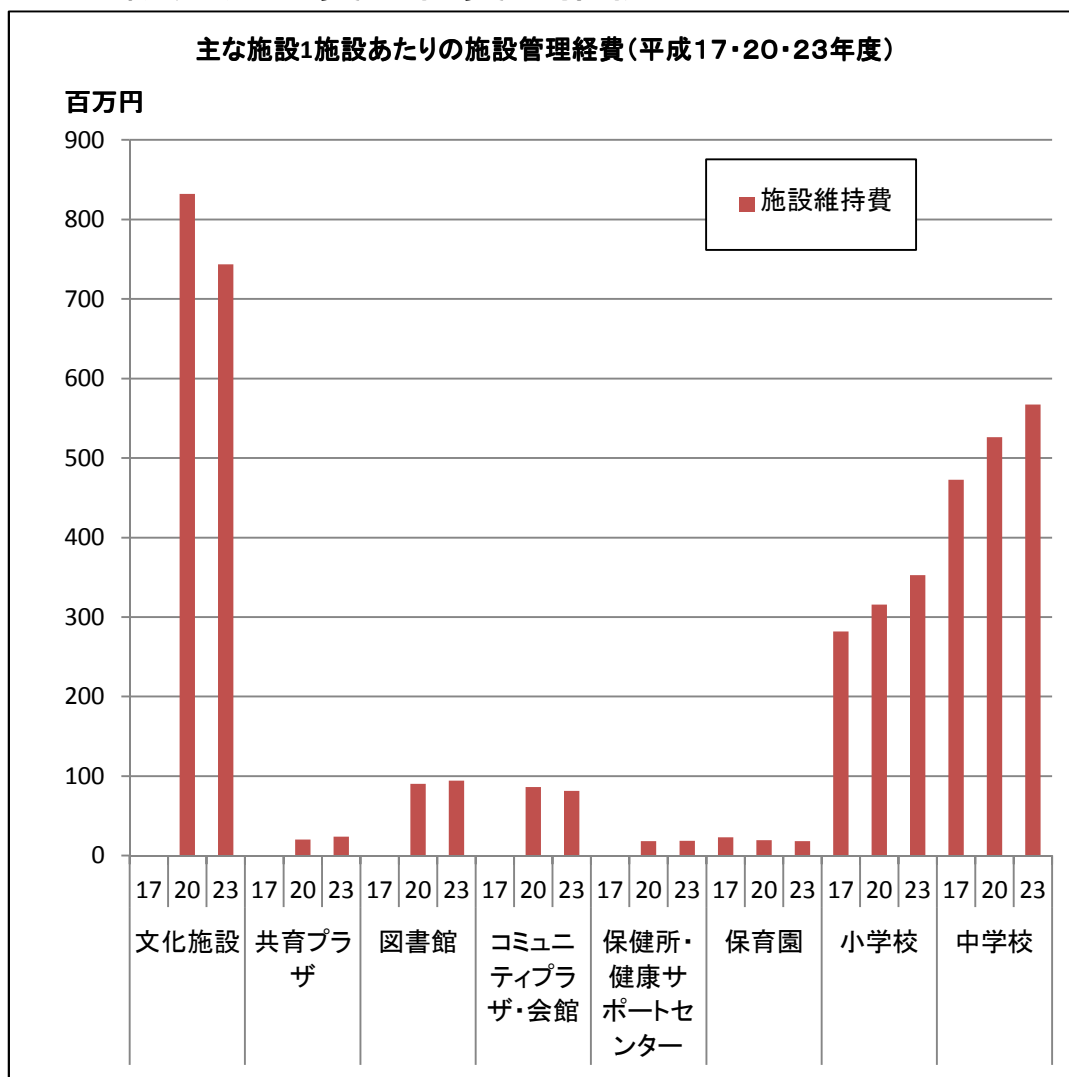
2. 施設コスト

■施設光熱水費他経費の推移



●平成17年度については、保育園、小学校、中学校のみの経費集計となります。

■施設光熱水費他経費の推移



※平成17年度決算については、データが無いため未記入

3. 施設の改築・改修経費

1

平成22年ごろから、建築後50年の耐用年数を迎える施設が増えてきます。

2

小中学校の耐震改修工事は、平成22年度に完了しています。

3

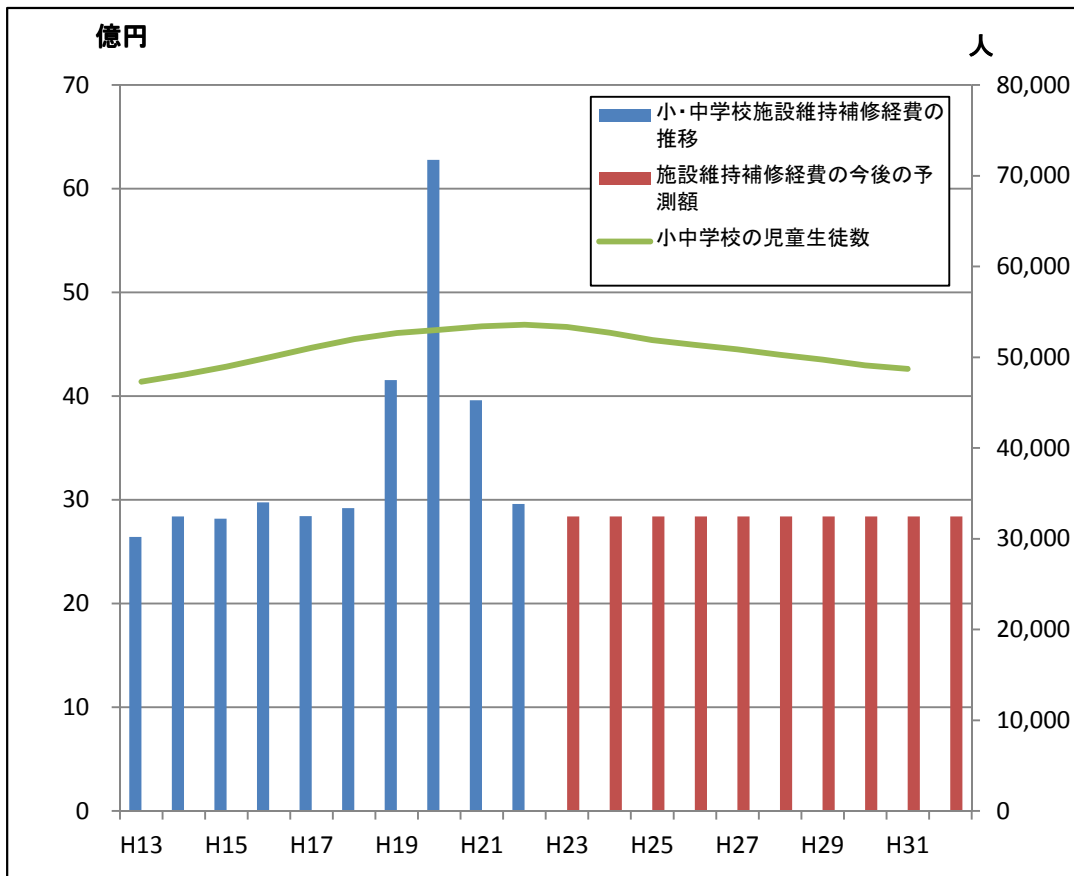
小中学校の改築経費を想定すると、平成21年度からの10年間に毎年平均で約15億円、平成31年からは毎年約60～75億円かかります。

4

学校を含めた全施設の改修経費は、平成21年度からの30年間に毎年平均で30～40億円かかります。

■小・中学校の改築経費の推計

●過去10年間の推移と、今後10年間の小・中学校の改築経費の推計は次のとおりです。



※18, 19, 20, 21年度の執行額には繰越明許費を含む。

※19年度: 中学校冷房化、20年度: 小学校冷房化、21年度: 小学校地デジ化、22年度: 中学校地デジ化工事の実施、などが経費増の主な理由。

○「学校施設改築の基本的な考え方について(第一次報告)」H19.9月策定より

学校改築に必要な経費の試算 1校あたり改築経費 33億円×71校=2,434億円

○今後10年間の学校の改修工事費(特別な対応を行わないと想定した場合)

特別な工事を実施した平成19～22年度を除いた6年間の執行額の平均額 約28.4億円×10年=284億円